

### Ⅲ 財務の概要

#### 1 資金収支計算書の概要

(資金収支計算書から見た概要及び前年度との対比)

資金収支計算書は、その会計年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日)の教育研究活動に対応する資金調達(資金収入)と資金の使途(資金支出)のすべてを明らかにすることを目的としています。

各科目の主な内容は、次のとおりです。なお、文中の金額は、万円未満を四捨五入して表記しているため、計算上一致しない場合があります。

#### 【資金収入の部】

##### (1) 学生生徒等納付金収入

前年度比 2億4,315万円増の47億6,035万円となりました。

増額の要因は、平成29年度の学生・生徒数が増加したことによるもので、学園全体の学生・生徒等総数(平成29年5月1日現在)は、前年度比 137名増の5,019名となりました。

##### (2) 手数料収入

前年度比 136万円増の1億2,519万円となりました。

この科目の主たる収入は、平成30年度入学志願者の入学検定料であり、前年度比 277万円の減となりましたが、大学入試センター試験実施手数料は、前年度比 358万円の増となりました。

##### (3) 寄付金収入

前年度比 173万円増の4,434万円となりました。

寄付金の内訳は、後援会及び保護者会などからの一般寄付金が前年度比 244万円の減となりましたが、聖徳学園サポーター寄付金などの特別寄付金は、前年度比 417万円の増となりました。

##### (4) 補助金収入

前年度比 5,280万円増の10億6,864万円となりました。

補助金は、私立大学等経常費補助金などの国庫補助金が、前年度比 626万円の増となり、また、岐阜県教育振興費補助金などの地方公共団体補助金は、前年度比 4,654万円の増となりました。

##### (5) 資産売却収入

前年度比 3億2,936万円減の8億 507万円となりました。

##### (6) 付随事業・収益事業収入

前年度比 472万円増の1億 628万円となりました。

内訳は、子育て支援事業に係る受託事業収入が前年度比 233万円の増となり、また、給食費などの補助活動収入は、生徒・児童数の増加により前年度比 239万円の増となりました。

なお、聖徳自動車学園からの収益事業収入は、前年度同額の2,000万円となりました。

## (7) 受取利息・配当金収入

金利水準が低位で推移する中、前年度比 1,185万円減の3,159万円となりました。

## (8) 雑収入

前年度比 4,155万円増の3億 728万円となりました。

増額の要因は、施設設備利用料が、前年度比 1,265万円の減となりましたが、退職金の財源となる私立大学退職金財団及び岐阜県退職金社団からの交付金は、前年度比 4,965万円の増となりました。

## (9) 前受金収入

前年度比 6,633万円減の8億9,425万円となりました。

平成30年度の入学前受金収入が前年度比 3,414万円の減となった他、授業料等の前受金収入も前年度比 3,219万円の減となりました。

## (10) その他の収入

前年度比 4億5,400万円減の4億1,677万円となりました。

主な要因は、預り金受入収入や仮受金収入は前年度より増となりましたが、前年度における岐阜信用金庫の優先出資 3億円が減となったことや前期末未収入金収入（退職者に伴う退職財団（社団）交付金収入等）が、前年度比 1億7,788万円の減となりました。

## 【資金支出の部】

### (1) 人件費支出

前年度比 5,563万円増の38億5,266万円となりました。

教職員の人件費支出は、前年度比 313万円増の35億530万円となりました。また、退職金支出は、前年度比 5,248万円増の3億1,816万円となりました。

### (2) 教育研究経費支出

前年度比 1億4,584万円増の13億6,476万円となりました。

主な科目の前年度比は次のとおり。

- ・ 消耗品費支出：前年度比 957万円減の1億3,965万円
- ・ 光熱水費支出：前年度比 1,202万円増の1億3,941万円
- ・ 奨学費支出：前年度比 4,801万円増の1億8,482万円
- ・ 修繕費支出：前年度比 7,889万円増の1億4,471万円
- ・ 保守点検委託費支出：前年度比 614万円減の2億1,015万円
- ・ 生徒輸送費支出：前年度比 2,746万円増の2億1,060万円

### (3) 管理経費支出

前年度比 116万円減の4億 17万円となりました。

主な科目の前年度比は次のとおり。

- ・ 保守点検委託費支出：前年度比 568万円増の3,554万円
- ・ 渉外費支出：前年度比 884万円減の1,087万円
- ・ 雑費支出：前年度比 638万円減の1,704万円

### (4) 借入金等利息支出

前年度比 44万円減の33万円となりました。

### (5) 借入金等返済支出

前年度比 1億2,000万円減の4,000万円となりました。

**(6) 施設関係支出**

前年度比 1億5,600万円増の5億 496万円となりました。

主な科目の前年度比は次のとおり。

- ・土地支出：前年度比 1億4,203万円増
- ・建物支出：前年度比 3億3,674万円増の3億4,853万円
- ・構築物支出：前年度比 662万円増の1,440万円
- ・建設仮勘定支出：前年度比 3億2,940万円減

**(7) 設備関係支出**

前年度比 575万円増の1億1,645万円となりました。

主な科目の前年度比は次のとおり。

- ・教育研究用機器備品支出：前年度比 713万円減の8,766万円
- ・管理用機器備品支出：前年度比 1,034万円増の1,581万円
- ・図書支出：前年度比 151万円増の1,194万円
- ・車両支出：前年度比 104万円増

**(8) 資産運用支出**

前年度比 4億2,162万円減の11億5,443万円となりました。

**(9) その他の支出**

前年度比 2億3,879万円減の5億3,867万円となりました。

これは、前年度における前期末未払金支払支出（退職者に伴う退職金等）が前年度比 2億2,926万円の減となりました。

## 2 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、資金収支計算書を「教育活動」、「施設整備等活動」と「その他の活動」の三つの活動区分に区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにすることを目的としています。

### (1) 教育活動による資金収支の状況

「教育活動」の収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入及び経常費等補助金収入などです。寄付金収入及び補助金収入のうち、施設設備に係る寄付金及び補助金は、「施設整備等活動」の収入に区分されます。

「教育活動」の支出は、人件費支出、教育研究経費支出及び管理経費支出です。

平成29年度の教育活動資金収入計は、63億5,560万円、教育活動資金支出計は、56億1,759万円で、差引 7億3,801万円となり、調整勘定等  $\Delta$ 1,051万円を加味した教育活動資金収支差額は、7億2,750万円となりました。

### (2) 施設整備等活動による資金収支の状況

「施設整備等活動」の収入は、施設設備寄付金収入及び施設設備補助金収入です。

「施設整備等活動」の支出は、施設関係支出、設備関係支出及び施設設備の整備を目的とした引当特定資産繰入支出です。

平成29年度の施設整備等活動資金収入計は、3,648万円、施設整備等活動資金支出計は、6億3,930万円で、差引  $\Delta$ 6億 282万円となり、調整勘定等 1,665万円を加味した施設整備等活動資金収支差額は、 $\Delta$ 5億8,617万円となりました。

また、教育活動資金収支差額と施設整備等活動資金収支差額の計は、1億4,133万円となりました。

### (3) その他の活動による資金収支の状況

「その他の活動」の収入は、有価証券売却収入、受取利息・配当金収入及び収益事業収入などです。

「その他の活動」の支出は、借入金等返済支出、有価証券購入支出及び借入金等利息支出などです。

平成29年度のその他の活動資金収入計は、10億3,816万円、その他の活動資金支出計は、13億3,397万円で、その他の活動資金収支差額は、 $\Delta$ 2億9,581万円となりました。

以上の結果、支払資金の増減額は、 $\Delta$ 1億5,448万円となり、前年度繰越支払資金 20億8,940万円を加えた翌年度繰越支払資金は、19億3,492万円となりました。

### 3 事業活動収支計算書の概要

(事業活動収支計算書から見た概要及び前年度との対比)

事業活動収支計算書は、「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」と「臨時的活動」の各活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、「基本金組入額」を控除した当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにすることを目的としています。

#### (1) 経常収支（教育活動・教育活動外収支）の状況

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、経常費等補助金などの教育活動収入計は、前年度比 3億3,957万円増の63億5,741万円となりました。

人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計は、前年度比 1億6,086万円増の63億 526万円となりました。

教育活動収入計から教育活動支出計を差し引いた教育活動収支差額は、前年度比 1億7,871万円増の5,215万円となりました。

- ・人件費：前年度比 3,839万円増の38億3,658万円。
- ・教育研究経費：前年度比 1億 774万円増の20億2,433万円。
- ・管理経費：前年度比 1,071万円増の4億3,899万円。

一方、受取利息・配当金、収益事業収入などの教育活動外収入計は、前年度比 1,185万円減の5,159万円となりました。

借入金利息などの教育活動外支出計は、前年度比 44万円減の33万円となりました。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合算した経常収支差額は、前年度比 1億6,729万円増の1億 341万円となりました。

#### (2) 特別収支の状況

施設設備に係る寄付金や補助金、現物寄付などの特別収入計は、前年度比708万円減の6,875万円となりました。

特別支出計は、図書館蔵書点検整理による図書除却費が減額となり、前年度比 3,797万円減の3,160万円となりました。

特別収入計から特別支出計を差し引いた特別収支差額は、前年度比 3,089万円増の3,715万円となりました。

#### (3) 基本金組入前当年度収支差額

経常収支差額と特別収支差額を合算した基本金組入前当年度収支差額は、前年度から 1億9,818万円改善し、1億4,056万円となりました。

#### (4) 当年度収支差額・翌年度繰越収支差額

基本金組入額は、前年度比 1億1,432万円増の4億8,282万円となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた当年度収支差額は、前年度比 8,387万円増の△3億4,226万円となりました。

その結果、前年度繰越収支差額△59億7,471万円と基本金取崩額 2,778万円を合算した翌年度繰越収支差額は、△62億8,919万円となりました。

## 4 貸借対照表の概要

(貸借対照表から見た概要及び前年度との対比)

貸借対照表は、期末における財政状態を示しています。資産がどのような調達源泉、すなわち負債（借入金等）、及び純資産（基本金、繰越収支差額）によってまかなわれているかを表示しています。

### (1) 資産の状況

年度末の資産の部合計は、248億7,696万円で、前年度末に比べて1億4,884万円の増となりました。

有形固定資産は、前年度末に比べて7,224万円減の176億9,060万円となりました。主な要因は、羽島・岐阜キャンパスの校地取得による増加があるものの、図書除却や建物等の減価償却資産の減少によるものです。

特定資産は、前年度末に比べて1,789万円増の24億3,888万円となりました。

その他の固定資産は、前年度末に比べて5,054万円増の19億9,520万円となりました。増加の要因は、有価証券及び出資金の計画的な購入によるものです。

流動資産は、1億5,265万円増の27億8,727万円となりました。主な要因は、現金預金等の減少があるものの、短期有価証券の増加によるものです。

### (2) 負債の状況

負債の部合計は、31億3,481万円で、前年度末に比べて828万円の増となりました。

固定負債は、借入金や退職給与引当金の減少により前年度末に比べて5,626万円減の15億4,516万円となりました。

流動負債は、前受金の減少があるものの、未払金及び預り金等の増加により前年度末に比べて6,454万円増の15億8,965万円となりました。

なお、平成29年度末の借入金の残高は、1億8,000万円となりました。

### (3) 純資産の状況

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産の額は、217億4,215万円となり、前年度末に比べて1億4,056万円の増となりました。

基本金は、平成29年度に4億5,504万円を組入れたことにより、280億3,134万円となりました。

繰越収支差額は、事業活動収支計算の結果、3億1,448万円減となり、62億8,919万円の繰越支出超過となりました。